

輸送動向について(10月分)

平成 16 年 11 月

1. 輸送概況

今月は、9月末の台風21号に続いて、台風22号及び台風23号が上陸し、高速貨287本、専貨25本が運休となった。さらに、10月23日に発生した新潟県中越地震で信越線柏崎駅～南長岡駅間(35.7km)及び上越線水上駅～宮内駅間(103.5km)が不通となり、31日までに高速貨247本、専貨49本が運休となった。(合わせて、高速貨534本、専貨74本が運休した。)

この対策として、4往復の迂回列車を運転するとともに、トラックによる代行輸送(新潟(夕)駅～黒井駅・富山貨物駅・郡山(夕)駅間)を実施し、輸送力の確保に努めた。

この結果、月全体の輸送量は、前年比91.0%となった。

コンテナ貨物では、自動車部品及び積合せ貨物等は前年を上回ったものの、前年に政府備蓄米の緊急輸送の特需があった農産物の他、各品目とも台風及び地震の影響を受け、コンテナ全体では前年比93.1%となった。

車扱貨物では、前年は北海道での製油所の事故に伴い増送があった石油をはじめ、一部に地震の影響を受けたセメント、紙・パルプ等他の全ての品目が前年を下回り、車扱全体では前年比87.8%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,956	2,101	93.1%	12,850	12,584	102.1%
車 扱	1,199	1,365	87.8%	7,819	8,151	95.9%
計	3,155	3,467	91.0%	20,669	20,736	99.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	99	171	-72	57.9%
	生野菜青果物	140	151	-11	92.7%
	化学工業品	191	198	-7	96.5%
	化学薬品	144	149	-5	96.6%
	食料工業品	271	288	-17	94.1%
	紙パルプ等	297	302	-5	98.3%
	他工業品	134	130	4	103.1%
	積合せ貨物等	232	230	2	100.9%
	自動車部品	44	38	6	115.8%
	工コ関連物資	34	45	-11	75.6%
	その他	370	400	-30	92.5%
	コンテナ計	1,956	2,101	-145	93.1%
車 扱	石 油	727	780	-53	93.2%
	セメント	126	195	-70	64.3%
	石 灰	54	58	-5	92.2%
	車 両	135	150	-15	90.0%
	紙・パルプ	42	53	-11	78.7%
	化学工業品	47	50	-3	93.8%
	その他	70	79	-9	88.8%
車扱計	1,199	1,365	-166	87.8%	
合 計		3,155	3,467	-311	91.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)